平成２９年度　第１回　三種町総合教育会議議事録

１　開催日時　　　　平成２９年１０月２７日（金）午後１時３０分

２　開催場所　　　　琴丘地域拠点センター　小会議室

３　出席者　　　　三種町長　　三浦　正隆

　　　　　　　　三種町教育委員会　委員長　堀田　キミ子

　　　　　　　　　　　　　　　　　委　員　佐々木　孝一

　　　　　　　　　　　　　　　　　委員　嶋田　博光

　　　　　　　　　　　　　　　　　委員　水野　京子

　　　　　　　　　教育長　鎌田　義人

４　欠席者　　　なし

５　事務局　　　総務課　係長　三浦　保

教育次長　畠山　広栄　　次長補佐　櫻庭　真弓

次長補佐　後藤　誠　　　係長　　　成田　直広

６　傍聴者　　　１名

７　内容　　　次のとおり

午後１時３０分開会

畠山教育次長　　おつかれさまです。本日はお忙しい中、会議にご出席下さいましてありがとうございました。

それでは、平成２９年度第１回三種町総合教育会議を開催させて頂きます。始めに、町長よりご挨拶をお願いいたします。

三浦町長　　　　皆さんこんにちは。風邪で喉を痛めてしまいました。インフルエンザではないですが、皆さん風邪にはくれぐれも気をつけてください。

さて、衆議院総選挙も終わりました。町民祭と行事が重なり職員も大変だったとは思うのですが、ミスもなく無事に終わりました。特に、教育委員会の皆様におかれましては、一般の方々のサークル活動の展示や小・中学生の展示作品等は、とても立派で、見栄えも大変良かったです。今回、土曜日が晴天ということもあり、午前中からお客様の入場も大変多く、重ねて御礼申し上げたいと存じます。

さて、６月議会に提案いたしました１学級１新聞事業ですが、４ケ月余りが経過いたしました。９月の上旬に、琴丘中学校の文化祭に行ってまいりました。その際、図書館司書の方が新聞の切り抜きを沢山されておりました。その切り抜きを生徒が見に来て自分が気にいった切り抜きにコメントを書くという大変面白い取り組みをしておりました。１学級１新聞事業は、先生方のご負担にならないように配慮をしたというもので、大変快く現場でなされておりました。郷土愛の醸成、家庭で新聞を取られていないご家庭でも、それぞれ子供達が新聞に接する機会も出来て新聞を手に取りやすく、簡単に見られるということと、各学校とも利用されていて、大変良かったと思っております。

先日は、さきがけ新聞大館支局長とお会いしました。多数購入して頂ければ、お安く出来るということもあり、新年度予算は、畠山教育次長にお話して頂きたいとお願いをいたしました。

残念でしたのが、８月１０日に予定されておりました「子ども議会」が台風の影響で中止になったことです。答弁書も用意しておりました。子供達のとても立派な質問もあり、今後ふるさと学習などにも出して頂ければと思っております。

それから、自分が幼少期に、学校のおトイレが怖くて行くことが出来ませんでしたので、トイレは空港やホテル並の水洗・洋式・ウォシュレットでと思っております。一部まだ、町の施設等ウォシュレットになっていない所もあるようなので、来年の予算で総仕上げをお願いしたいと思うところです。

今朝、新聞で「いじめ」問題が全国版に出ていました。学校でのいじめでの自殺問題ですが、前年より１０万件多い３２万件という報告がなされておりました。３０年間で過去最多という報告でしたが、いじめに対する自殺の報告は、２４４人。町の自殺問題もそうなのですが、厚労省と警察署での報告は全然違うということで、どちらが正しいかということではないと思いますが、いじめ問題の自殺は、大変痛ましい事件であります。本町からは、そのようなことがないようにと思っておりますので、教育委員の皆様よろしくお願いいたします。

本日の会議の案件につきましても、ご協議よろしくお願いたしまして開会の挨拶とします。

畠山教育次長　　ありがとうございました。続きまして、教育委員長よりご挨拶をお願いします。

堀田委員長　　　皆さんこんにちは。大変お天気が良くて、琴丘小学校裏の桜の葉っぱが下に落ちてとても綺麗でした。まるで絵本の世界でした。紅葉が真っ盛りというところですね。先般、教育委員が学校訪問をして参りました。それぞれ、どこの学校もとても素晴らしく、子供達が取り組みをされておりました。山本中学校は大変環境整備も良く、生徒が楽しそうに授業されている姿には大変感心して参りました。

今朝の新聞に、「いじめ」問題が掲載されておりました。楽しそうに授業されていた子供達にも「いじめ」があるのかなあと思ってしまいました。

昨日は、町内中学生全員参加によります地元琴丘出身で、新聞記者をされている鎌田倫子さんによります「ようこそ先輩」講演会がありました。講演会終了後の質問コーナーでは、「こんなに大変なお仕事でも、どうして続けてお仕事されているのですか？」という質問をされておりました。やがて自分達が、社会に出た時に役立つと思って質問されているのだとなあと思い安心して聞いて参りました。

学校教育の授業では、まもなく道徳授業・英語教育授業の導入が始まります。町としての取り組みや、今後のことなどを踏まえまして、子供達の将来に少しでも力になれればと思っております。

子ども達にとっても、良い方向に持って行ければと願っておりますので、本日はよろしくお願いいたします。

畠山教育次長　　ありがとうございました。それでは、以後の議事進行につきまして、町長にお願いします。

三浦町長　　　　はい。次第の２番に入ります。議事録署名委員の指名でございますが、佐々木孝一委員にお願いします。

佐々木委員　　　はい。

三浦町長　　　　それでは協議事項に入ります。

（１）学校事務の共同実施について。それでは、資料について事務局より説明をお願いします。

成田係長　　（資料を基に説明）

　　　　　　　三種町の小・中学校には、県職員が教職員・事務職員として

　　　　　　配置されております。県費事務職員は７名おりますが、そのうち

の２名につきましては山本中学校の事務センターに配置されておりますので、学校事務の共同実施については、琴丘地域・八竜地域の琴丘小学校、琴丘中学校、浜口小学校、湖北小学校、八竜中学校の事務職員５名が対象となっております。全県的にも学校事務の共同実施を行っている市町村が多数となっておりますので、今回、学校事務の共同実施につきまして、お計りするものであります。

　　　　　　　概要について説明いたします。これまでの国の動向といたしまして、中央教育審議会、これは文部科学大臣の諮問基幹となっておりますが、平成１０年に「今後の地方教育行政の在り方」についての答申以降、一貫して学校事務の効率化、組織化、学校事務職員の学校経営への参画等を提言しております。秋田県の動向といたしまして、平成１６年には「あきた教育新時代創世プログラム」を策定し「学校事務のセンター化事業」を進めてまいりました。平成２１年度は、「学校教育法施行規則改正」により学校に事務長を置くことが可能となり、平成２２年度は「事務センター化」が実施されました。これは事務の効率化や職員のスキルアップにより職員数の縮減を図るもので、小規模校の非常勤事務職員化と拠点校への事務職員集中配置により実施しています。三種町では森岳小学校、下岩川小学校、金岡小学校に非常勤事務職員を配置し、山本中学校では正規事務センター職員を２名と非常勤事務職員を１名配置し、その４校で事務センター化しています。

平成１５年度から学校事務の採用がなくなり、今後定年退職とともに学校事務採用の職員が減少し、行政一般事務職員が学校に配置されていきます。このため学校事務の停滞及び精通度の低下により教育行政サービスそのものの格差が生ずることが懸念されました。この問題を解決するため、県では平成２４年度から事務センターの体制を維持しながら、「学校事務の共同実施」を推進していくことになりました。

事務の共同実施の目的としまして、市町村立小中学校に勤務する事務職員が情報を共有し、相互に支援し、また、共同で学校事務を処理することにより、事務の正確性、効率性、専門性を高めるとともに、学校運営及び教育活動への積極的な支援に務めることとしています。

近年、全国や県内でも度重なる学校徴収金等の不祥事が発生しておりますが、担当教職員が１人で管理していた学校徴収金等業務を事務職員が共同で行うチェック機能の強化により、適正に正確に行うことができ、また、教員の業務の一部を事務職員が行うことによる多忙化解消が図られるということです。

平成２９年度現在、２５市町村中、実施が１７市町村、未実施８町村となっております。資料２をご覧ください。平成２９年度秋田県における学校事務の共同実施等の現状についての一覧表となっております。秋田県内では事務の共同実施について多数の学校が実施していることがわかります。

資料1に戻りまして、求める効果につきましては、秋田県標準事例より、教員の事務処理の負担軽減、教員が行っている事務処理の負担軽減を図り、教員の多忙化の解消に貢献することとなっております。２としましては学校事務の適正化・効率化として、定期的な情報交換や相互チェック機能によって、より正確かつ迅速な事務処理を図ることとしています。３としましては学校のＩＣＴ化を活用し校務の実践事例の共有化・事務集中一括管理・効率化を図ること、４としましては学校事務職員の資質向上といたしまして（1）定例会議等の開催や事務の共同処理を、情報交換の場及び専門性を高める研修の機会とし、事務職員の資質向上を図ること。（2）学校間や職員間の連携を密にし、事務処理の経験の幅を広げ、事務処理能力を強化するなど、学校事務の深化を図り、積極的に学校運営を支援することとしています。

事務の共同実施により行う業務につきましては、これから検討していくことではありますが、秋田県標準事例では教員の多忙化の解消として学校徴収金、学籍関係、調査統計、教科用図書に係る業務を行うこととしています。

また、市町村費に係る業務（予算要求・執行・管理、備品管理等）、県費に係る業務（教職員の給与・諸手当・旅費等）につきましては、現在も行われている業務であります。これらの業務に関して事務職員の情報交換・相互チェック機能・資質向上を図りながら、積極的な学校運営支援を行う。また、事務職員の病気休暇等緊急時にグループ内で支援をするということです。

共同実施グループにつきましては、例として琴丘小、琴丘中、浜口小、湖北小、八竜中の職員５名で１グループとしています。グループには拠点校をおき、主任主査以上を事務長又はリーダーとして県が任命、町が発令することになります。下岩川小、森岳小、金岡小、山本地域につきましては現状と同じ山本事務センターとして山本中学校に職員２名非常勤職員１名とし、小学校には非常勤職員が配置されます。

今後のスケジュールの案といたしましては、１１月中には校長会へ事務の共同実施について報告をいたしまして、その後に実施検討委員会を設置・開催し内容を検討し、１月中には再度校長会で内容等について報告する予定としています。併せて事務職員研究会において事務職員の皆さんからもご検討いただきながら進めていくことになります。また実施組織・協議会規則・学校管理規則改正について２月の教育委員会定例会でお諮りし、事務の共同実施の４月１日に施行する予定しています。これで事務の共同実施についての説明を終わります。

三浦町長　　　　現在の共同実施グループの山本事務センターの事務職員２名は県の職員ですか。

成田係長　　　　はい。県の事務職員で正職員です。

三浦町長　　　　下岩川小学校・森岳小学校・金岡小学校は、三種町の非常勤職員が事務をされているのですか。

成田係長　　　　非常勤職員の方も県の職員です。

三浦町長　　　　先程の説明だと県が任命、町が発令だとすれば、県が推薦された方を、町が発令するということですか。

成田係長　　　　県から任命された方をグループリーダーとして町が発令するということです。

三浦町長　　　　非常勤職員の方を募集することも県のほうで行うということ

ですか。

成田係長　　　　事務職員に関しては、県が行なっています。

三浦町長　　　　事務センター化・共同実施は並行に行うのでなく、共同実施していくということですか

成田係長　　　　今、行っている山本中学校の事務センターは残し、単独で事務職員を配置している学校について実施するということです。

三浦町長　　　　事務センター化にするのではなく、共同事務をするということですね。

畠山教育次長　　事務センター化にしていくということではないです。

堀田委員長　　　山本事務センター化になっているということは、共同実施による業務の内容が違うということですよね。これから事務の共同実施を行っていくということは、調査統計、学籍、教科書の事などを事務の先生方が行っていくということなのですね。

成田係長　　　　はい。そうです。グループを作ってそのような職務を行っていくということです。

堀田委員長　　　教職員多忙化の解消には、とても良いことです。是非やってくださればと思います。学校集金、徴収、学籍、調査統計など全て先生方の手にかかっていると思いますので、大変良いことだと思います。これらのことを事務職員の方がしてくだされば、先生方の多忙化が縮小され、子供達を指導する時間が増えてくれるとなれば、大変良い傾向だと思います。

三浦町長　　　　委員の皆さん、ほかに質問はないですか。だいぶ学校事務の共同実施により大きく変わるようです。

佐々木委員　　　山本地区は、下岩川小学校、森岳小学校、金岡小学校、山本中学校で一つのグループを作っている。琴丘小学校と琴丘小学校。八竜地区の湖北小学校、浜口小学校、八竜中学校５校のグループから１つのグループということですか。

成田係長　　　　これから検討していくことですが、２つのグループにした場合、琴丘地区では、琴丘小学校と琴丘中学校の２校になってしまいます。例えば事務職員が病気休暇等になった場合は一人になってしまいます。そのようなことであれば、事務の共同実施の恩恵がないということです。

佐々木委員　　　学校事務の共同実施のグループが多ければどうなりますか。

成田係長　　　　共同実施グループの多い所もあります。ただ山本地区は事務センター化されています。

佐々木委員　　　事務センター化されていれば出来ないということですか。三種町全体でも共同実施が出来るということですか

成田係長　　　　全体でも共同実施は出来ますが、山本地区は事務センター化されておりますので、これからの検討になります。

佐々木委員　　　事務センター化を実施されていれば、出来ないということなのですね。

堀田委員長　　　事務センター化と事務の共同実施は、同じ業務内容なのですね。５校であろうが４校であろうが同じだと思いますが、チェック体制をどこまで行っていただけるか、きちんと確実に、そして、お金に関することもあると思いますので。

成田係長　　　　はい。

佐々木委員　　　一人で事務を行うことより、複数で共同実施を行えば正確性が違うと思います。大変良いことだと思います。特に、若手の方の指導を考えれば、大変良いことだと思います。

堀田委員長　　　県内もほとんどの町村が、学校事務の共同実施を行っているということなのですよね。

佐々木委員　　　学校事務の先生方には、業務内容をお知らせしているのですか。

成田係長　　　　三種町事務研究会というのがありまして、７名の事務職員の方々で毎月１回、琴丘地域拠点センターの会議室で研究会を行っています。情報提供等も行われておりますので、学校事務の共同実施の下地は出来ていると思います。

佐々木委員　　　学校の集金、徴収など、自発的に学校事務の共同実施の話題などは、出来ているということなのですね。

成田係長　　　　学校事務の共同実施を行う業務については、これからの検討になりますが、現場の学校事務の先生方の現状にあうように決めていただければと考えております。

畠山教育次長　　実際５校の学校事務職員の中には、グループリーダーとして、他校で学校事務の共同実施の立ち上げ等に係わってきた事務職員の方が数名おります。その方をリーダーとして検討委員会を行うということです。

堀田委員長　　　学校事務の共同実施の経験者がいるということであれば、心強いですね。

三浦町長　　　　ほかに何か質問はないですか。

嶋田委員　　　　山本地区の下岩川小学校・森岳小学校・金岡小学校にはそれぞれ非常勤職員がいるようですが、この方々の勤務日数はどのくらいですか。

成田係長　　　　非常勤職員とはいっていますが、常勤職員です。この非常勤職員の方々が臨時職員ということです。

嶋田委員　　　　学校事務職員の常勤職員と非常勤職員の待遇は、違いますか。

成田係長　　　　学校事務職員の行う業務等、県費に関する業務が出来ません。教職員の給与・諸手当・旅費等など非常勤臨時職員だと出来ないということです。

嶋田委員　　　 学校事務の共同実施の目的としては、事務の効率化、事務職員の縮減等であれば、事務職員の削減には合わないように思いますが。

成田係長　　　 学校事務職員の削減はありません。学校事務センターを作る時に下岩川小学校・森岳小学校・金岡小学校など各校には事務職員がおりましたが、そこに非常勤職員を充てるために学校事務センター化したということです。

鎌田教育長　　 学校が４校あれば事務職員も４人いないといけませんが、センター化して山本中学校の２名でやっているということです。

嶋田委員　　　　学校事務の共同実施化の方針に向けていけば、事務職員の削減にはあてはまらないのではないですか。

鎌田教育長　　　学校事務職員の削減と学校事務の共同実施化は違います。

三浦町長　　　　学校事務職員の削減にはなってはいないけど、病休等が生じた場合グループであれば融通が利くということですね。

畠山教育次長　　現在は浜口小学校事務職員の方が、湖北小学校の事務監査を実施することは出来ませんが、学校事務の方であれば、見ればわかるということです。不祥事防止にはなります。

三種町長　　　　平成１５年から学校事務の採用枠がという話がありましたね。職員採用については、学校職、一般職で採用になっても学校に配置されたり各振興局に配属されたりとか。学校事務で採用となれば、学校事務でないと出来ない。学校の統合等で学校が少なくなってきているし、将来のことを考えて柔軟性を高めていきたいということなのですね。専門の方でないと学校事務が出来ないのですか。一般職の方も学校事務は出来ると思うのですが、学校事務職員でないと学校事務は出来ないのですか。

堀田委員長　　　学校事務は、そんな難しいことはないと思います。集金とか学籍とか統計とか全部先生方が行っておりました。学校事務職員は、職員の給与、備品の管理、お金の管理などは行っておりましたが、午前中で事務の仕事は終わっていたようでした。

三浦町長　　　　特殊な事務ということではないのですね。

鎌田教育長　　　学校事務は、そんな忙しいことはないと思います。

三浦町長　　　　学校事務の共同化をすることによって、先生方の負担も減るし、グループリーダーがいれば、指導に行ったり応援に行ったりすることも出来るとの位置付けなのですね。グループリーダーを置く学校が必要ですね。

鎌田教育長　　　三種町の５校のうちに事務のグループリーダーを置くということです。一緒になっても大丈夫だと思います。

三浦町長　　　　学校事務の共同実施により、先生方の負担軽減にも繋がり、先生方の過重労働にならないようであれば、学校事務の共同実施については、当委員会では「可」とします。

三浦町長　　　　続きまして平成３０年度教育委員会予算についてお願いします。

櫻庭次長補佐　　３０年度教育委員会予算について、別紙資料の小学校外国語教科化について説明します。

　　現在小学校５・６年生は、週１時間。「聞く」「話す」を中心に英語に「慣れ親しむ」外国語活動を週１時間、年間３５時間行なっております。平成３２年度からは、小学校３・４年生にその外国語活動がおりてきます。そして、５・６年生は「聞く」「話す」を活動の中心に「読む」「書く」にも「慣れ親しむ」を週２時間、年間７０時間に変わります。来年３０年度・３１年度は、小学校３・４年生は、年間１５時間、小学校５・６年生は、年間５０時間となり先行的に実施する移行措置が全小学校で始まる予定です。平成２９年度より必修化されていない１年生～４年生については、外国語活動の時間に活用出来るように「外国語活動支援ガイド」を作成しております。

当町では、現在３名のＡＬＴがおります。原則中学校を訪問しておりますが、今年度の２学期 ～ 平成３０年度１学期までは、各中学校に常駐しております。琴丘中学校には、ウッドオール ルーカスさん（男性）・山本中学校には、ヒール トリストンさん（男性）・八竜中学校には、グロス ステファニーさん（女性）です。

現在、外国語活動支援員は２名おります。原則６小学校を訪問しております。中学校には、１ケ月の前半・後半を２名の支援員がローテーションで３中学校を訪問するのですが、支援員が訪問出来ない学校もでてしまいます。そのような理由で、新年度では１名増員の外国語活動支援員を予定しております。

現在の外国語活動支援員の賃金は１２４千円、新年度の外国

語活動支援員の賃金は２，３１０千円、月平均賃金は１８９千円を見込みます。

教育委員会の新事業といたしまして、平成３０年度は「学習ノート」の作製配布を計画し、三種町独自のものにしたいと考えています。小学校６校：中学校３校に「学習ノート」を無料で配布したいと考えています。約１万冊です。予算額は２，５００千円です。

スポーツ係からは、毎年５月最終水曜日に開催されますチャレンジデーについてです。１２月補正として来年は平成３０年５月３０日(水曜日)の開催予定です。町全体・地域をより盛り上げるため、チャレンジデーの旗（ポール付き）を各自治会に３００本、町関係施設等２００本の設置を予定しております。

また、チャレンジデー開催の宣伝用としてマグネットシートを町の公用車などに貼り付け宣伝するため、枚数は４４枚、

１４２千円を予定しております。また、チャレンジデーに参加していただいた方々にハンドタオルを配布する予定です。１６２千円です。

生涯学習係では、三種町歴史民俗資料館・三種の館管理清掃業務委託を考えています。業務内容は施設の管理と清掃、来館される方の対応、施設周辺の草刈りなどです。勤務時間の内容は、午前９時から午後４時までで、６時間勤務の休憩を１時間と考えています。 単価は時給８００円で、こちらの金額は三種町臨時的任用職員及び非常勤職員の任用等に関する規則から算出しております。そのほか、早く出勤して頂いたり遅くなったりする場合については、時間外で対応します。

勤務形態は火曜日から日曜日までの６日間を予定し、月曜日

　　　　　　　は休館日となります。委託料は一月の賃金１２４千円で時間外勤務は一月１０時間で合計金額１，５８４千円の計上を予定しております。

以上３０年度教育委員会予算についての説明を終わります。

三浦町長　　　　４点説明がありました。全体を一括しての質問はありません

か。

嶋田委員　　　 先日行われました「ねんりんピック」に髙堂副町長と「三種の館」を見ることがありました。普段見ることがなかったのですが、「みたねの館」の中は大変素晴らしく、内容も大変良かったです。改めて良かったと思いました。これからは、１週間の内６日間開設するということなので、是非、実施し頑張ってほしいと思います。

堀田委員長　　　現在は、「みたねの館」来館者の対応はどのようにしているのですか。

後藤次長補佐　　来館者は、玄関に張り紙をしているので、連絡をして頂いております。職員が居ない時、土日など電話もあります。年間３０日くらいは、職員が開けていますが、対応しきれないことがあります。大切な物も入っております。ただ、開けておくことも出来ませんので、新年度からは委託の方を置いて、周辺管理をして頂き、お願いしたいと考えています。

三浦町長　　　　面積も大きいので、だいぶ草刈りをして頂かないといけないかと思います。

堀田委員長　　　草刈りの出来る方が条件になりますね。

後藤次長補佐　　年２回全体的に周りの草刈りを行っています。マレットゴルフの方々もコース周辺を自分達で草刈りをしております。

三浦町長　　　　相撲の方々も自分達で草刈りをしていますね。

水野委員　　　　外国語活動支援員、見つかってくれればいいなあと思っております。

三浦町長　　　　時給２００円上げるということで、大丈夫ですか。

鎌田教育長　　　今の外国語活動支援員の方には、早く示さないとね。

堀田委員長　　　三種町は待遇が悪いです。八峰町は県の講師時給１時間

１，８００円に合わせています。

鎌田教育長　　　他町村の外国語活動支援員の待遇も聞きました。他町村とも外国語活動支援員は講師並の待遇にしていきたいということでした。

三浦町長　　　　講師並の待遇とはどのくらいですか。

畠山教育次長　　三種町の講師の待遇は、２４万から２５万位です。

三浦町長　　　　外国語活動支援員は、特殊な才能、特殊技能の方なので、賃

金が安いと町外に行ってしまう心配がありますよね。

鎌田教育長　　　今回、説明している外国語活動支援員の賃金１，５００円は

決して安い賃金ではないです。

畠山教育次長　　三種町は、特別に安い賃金ではないです。英語を話せるが

　　　　　　　教諭免許は持っていないということです。

三浦町長　　　　やはり教諭免許があればいいのですか。

堀田委員長　　　外国語活動支援員の基本となるのは、やはり資格がある方だと思いますが、資格の有る方、無い方のどちらかと言えば教諭免許を持っていればいいですね。

水野委員　　　　小学校免許を持っている方を思いつきました。

鎌田教育長　　　気がついたら教えてくだい。

堀田委員長　　　是非、教えてください。

鎌田教育長　　　八郎潟町は、教諭免許はこだわらず、会話をすることが出来

れば良いという町村もあります。

堀田委員長　　　子供達に接するとなれば、やはり児童心理を知っていれば基

礎も出来ていますし、接し方も違いますよね。

三浦町長　　　　ＡＬＴ３人の方々は、英語教諭の免許は持っていないのでし

ょう。

堀田委員長　　　ＡＬＴ単独の授業は出来ません。必ず先生方が付きますので、

アシスタントですね。

三浦町長　　　　外国語活動支援員は、単独で行うのですか。

堀田委員長　　　外国語活動支援員もアシスタントです。

鎌田教育長　　　小学校３年生・４年生には、これから英語の授業が降りて来

ます。この「外国語活動支援ガイド」は、今いる外国語活動支援員の高松さんと三浦さんの二人が一緒に作りました。三種町独自のものです。三種町は小学校１年生からも英語を始めています。

堀田委員長　　　子供達の年齢が低いほど覚えることも早いです。

鎌田教育長　　　３人のＡＬＴの方々は、保育園に出かけたり、給食を一緒に食べたり、行事に参加したりなので、外国語活動支援員も３人体制であれば最高にありがたいことです。

佐々木委員　　　大変良いことだと思います。春休み・夏休み・冬休みなど中学校にＡＬＴを配置していますのでとても良いと思います。

鎌田教育長　　　３人のＡＬＴの方々を各中学校に配置しましたら、行事活動などにも参加してくれるので大変喜ばれています。

三浦町長　　　　子供達は、英語を話せる絶好のいいチャンスですね。

水野委員　　　　今の外国語活動支援員の方々は、女性のお二人ですか。私が

思いついた方は、若い男性の方です。

鎌田教育長　　 外国語活動支援員の待遇改善をして頂き、是非、３人の外国

語活動支援員を確保出来ればと思っております。

三浦町長　　　　県内で学習ノートの制作しているところはありますか。Ａ４版サイズを使っていますがこれでいいですか。小学生もこのサイズで大丈夫なのですね。

畠山教育次長　　他町村でも学習ノートの配布をしているところはあります。

夏休み1冊とか冬休み1冊とか使っています。

水野委員　　　　勉強する時間、量が増えるのですね。

鎌田教育長　　　学校ではノートに差がつくということもあるので、同じノー

トを使えれば良いということです。

三浦町長　　　　無償で配布になればいいですよね。

畠山教育次長　　今のところ１冊２５０円ぐらいです。もう少し値段は、安く

なると思います。

鎌田教育長　　　ノートは一人分、千円ぐらいです。

畠山教育次長　　年間通して学習ノートを配布する学校はないです。夏休み１

冊とか配布する学校は県内外にはありますが、年間通じて何十冊も無償で配布する学校は全国的にはないです。

堀田委員長　　　沢山自習学習をする児童は、中学生は年間８冊とか１０冊とか。中には、３冊か４冊ぐらいと凄く差がつきます。

畠山教育次長　　中学生は２０冊。小学生はかなり差があるみたいです。

三浦町長　　　　何冊使ったか競争になりますね。

鎌田教育長　　　学校の中には、コピーして廊下や教室に貼ったり、意欲を

もたせている学校もあります。

三浦町長　　　　学校の授業では、ノートの書き方は決まっているのですか。

堀田委員長　　 学習ノートの書き方は基本ですから、統一した方が見やすい

です。ですが、なんでも統一すればいいということではないです。

三浦町長　　　　学習ノートの無料配布は「可」としていいですね。余所でや

ってない事業なので良いことですね。

佐々木委員　　　勉強意欲が付いて、とてもいいＰＲになると思います。

三浦町長　　　　チャレンジデーのポール・旗については良いことだと思いま

す。４月に委員会を立ち上げて、５月のチャレンジデーには間に合わないので、すぐ配布することが出来るということであれば良いと思います。参加者が増えて来ると思いますので、この内容でいいですよね。

堀田委員長　　　良いと思います。

佐々木委員　　 今年は、何人ぐらい参加したのですか。

後藤次長補佐　　８千人の参加者でした。４８.５％です。

堀田委員長　　　参加率は上がってきているのですよね。

三浦町長　　　　毎年、参加率は上がってきています。

佐々木委員　　　ハンドタオル１千枚は、間に合いますか。

畠山教育次長　　ハンドタオルは、新年度予算で間に合います。自治会の参加

賞ということなので、ハンドタオルは間に合います。

三浦町長　　　　本年度、実績の自治会はどのくらいですか。

後藤次長補佐　　報告がくるのは、２／３ぐらいです。

三浦町長　　　　チャレンジデー関係は「可」とします。

歴史関係資料館「みたねの館」ですが、ジオラマなどを置いて

いるところは、修理しないといけないですね。鵜川の児玉高道

日記など大事に保管したほうがいいですよ。

嶋田委員　　　　以前、旧山本町の時も民族的な良いものはありました。今はどこにありますか。

畠山教育次長　　山本地区の横長根にあります。使っていない倉庫に農具など色々入っております。

鎌田教育長　　　「三種の館」に置くように整理したらどうですかね。

三浦町長　　　　教育委員会所管の土器とかは、橋本五郎文庫になかったですか。

畠山教育次長　　土器等は、旧上岩川小学校にあります。

三浦町長　　　　一カ所に取りまとめるのは大変かもしれませんが、資料の整

理をお願いします。

堀田委員長　　　旧八竜にも良いものがありましたよね。

三浦町長　　　　八竜のどこにありますか。

畠山教育次長　　鵜川中学校の体育館にあります。

三浦町長　　　　新年度予算については、これでいいですか。

畠山教育次長　　教育委員会事務局では、その他は特別にありません。

三浦町長　　　　全体の中で、ほかに質問等はありませんか。今、山本総合支

所と山本公民館合築の基本設計が出来ています。

畠山教育次長　　町長に関係図面と位置図をＰＤＦで送信しております。

三浦町長　　　　これからは、一般の利用者の方々に説明をして、ご意見を賜

ることなどですね。

堀田委員長　　　利用される人数が少しずつ減ってきていますね。琴丘拠点セ

ンターは、地域の方々が活用しておりますよね。

三浦町長　　　　琴丘拠点センターは、もう少し広くても良かったですね。

畠山教育次長　　山本はここの倍はあります。２階には会議室、防音室入れ

て４室、１階は会議室１室であります。困っているのが、和室が必要なのかとても迷っております。この会議室は、畳の和室になります。

堀田委員長　　　この会議室は、和式にも出来るのですか。お茶もイスの時代

なので、畳には座れないという方がいるので、畳のお部屋はもったいないですね。

三浦町長　　　　和室をやめて洋室を作るということですね。琴丘地区にある

「青春館」のような防音室、若い方が集まれるような場所が必要です。

畠山教育次長　　大人が集まるように、キッズルームをやめました。新聞を読

まれる方々が周辺から来るので、図書室より別の部屋にテーブルを置いて、ゆっくり新聞を読める場所があればいいかと思っております。

堀田委員長　　　八竜改善センターにもけっこう新聞を見に来られる方がいま

すね。

三浦町長　　　　高齢化時代になって、男が行ける場所がないので、これから

は、男も行ける場所を作らないといけないです。女性は、結構生涯学習講座に出かけたりしますからね。

鎌田教育長　　　男が行ける場所を作らないとね。建物が全部一緒になっていればいいですよね。

三浦町長　　　　秋田市の「エリアなかいち」は、沢山、新聞を見に来られる

方がいますね。

畠山教育次長　　キッズルームは、そうゆう部屋にしたいと思っております。

三浦町長　　　　「三種町は、子供達が雨の日に遊べる場所がない。」と、いう

若いお母さん達の声を良く聞きます。

畠山教育次長　　図書室には、新聞など置かなくてもいいのではないかと思っ

ております。

水野委員　　　　今の若い方で、古い建物に入れば喘息を起こすハウスダスト

でやられてしまう方がおります。畳とか座布団などでアレルギーを起こしてしまいます。

堀田委員長　　　着ぐるみでもアレルギーを起こすことがあります。

鎌田教育次長　　畳のお部屋などは作れませんね。

水野委員　　　　畳などは、もったいないけど危険ですね。

三浦町長　　　　色々な良いお話ができました。教育委員会の皆様ありがとう

ございました。

　　　以上をもちまして、本日の会を閉じたいと思います。

午後３時００分　閉会